

NPO法人「住育コミュニティ」平成24年度 事業計画書

活動内容

(1) イベント活動

住育コミュニティ

- 住育コミュニティ高知（ 月）
- 住育コミュニティ沖縄（ 月）
- 住育コミュニティ京都（ 月）

「住育」とは？… つまり“人が暮らしを楽しむこと”とはどういうことなのか？

このことを突き詰めて考えていくのがこの住育コミュニティの趣旨です。

今の暮らしを楽しみたいという女性、主婦の方から、これからの人生、暮らしを楽しみたいという学生の方など、ご自身の人生を良くしたい、暮らしを楽しみたいと考える人に参加していただきたい場です。

もちろん女性だけでなく男性の方にも是非参加して欲しいと考えています。

参加して頂く方、10代、20代、30代、40代、50代、60代…、それぞれの年代で、「私は何をしていけばいいのか？」それを考える場を提供していきたいと思います。

住育コミュニティでは、座談会形式の参加型ワークショップを通じて、自分の過去や未来を振り返り、自分の家族関係を見直すとともに、これからの家族関係にむけて夢を描けるような機会にしていきたいと考えています。

住育講演会

- 6月 愛媛県とベ町で講演
- 6月 横浜市

住育講演会では、「住育とは何か？」をより多くの人に知ってもらう活動をします。

具体的には、

- 参加者の方へ「住育」の考えを発信する講演会
- 参加者の方と一緒に「住育」について考えるフォーラム、パネルディスカッション（討論会）

などの場の提供を予定します。

(2) 研究活動

- 住育セミナー
- 住育教室

住育研究会では、住育の定義、方法論とその効果測定などを有識者に研究して頂き、一般の方々やプロの皆さんと一緒にセミナーで意見を交換して、研究を続けたり研究報告していきます。

●「住育の家」に実際住まわれている家族に通信教育を受けて頂き、住育リビングアドバイザー制度を設けて幸せ家族を実際に見学して頂いたり、広報活動を担って貰います。

(3) 普及活動

1)「住育コミュニティ通信」の発行（年2回）

当 NPOの活動報告とともに、住育関連の特集を組み、住育活動を啓発するため発行

- 内容
 - ・住育コミュニティ 過去開催記録
 - ・全国住育実行委員の紹介
 - ・住育関連特集インタビュー
 - ・住育の実践例 NPO活動の事例
 - ・住育 関連書籍 住育関連ニュースなど

平成 24 年度 活動予算書

平成 24 年 4 月 1 日から 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人住育コミュニティ
(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員 (個人) 15 口	150,000		
(法人) 5 口	150,000		
計		300,000	
2 受取寄附金			
賛助会員 20 口	60,000		
計		60,000	
3 事業収益			
住育コミュニティ事業収益	700,000		
住育アドバイザー認定制度事業収益	100,000		
計		800,000	
4 その他収益			
預金利息	50		
計		50	
経常収益計			1,160,050
II 経常費用			
1 事業費			
住育コミュニティ	650,000		
住育アドバイザー認定制度	100,000		
計		750,000	
2 管理費			
支払手数料	28,400		
事務経費	60,000		
消耗品費	5,000		
減価償却費	54,600		
繰延資産償却費	15,120		
計		163,120	
経常費用計			913,120
当期経常増減額			246,930
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			246,930
前期繰越正味財産額			309,279
次期繰越正味財産額			556,209

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。